



光の子だより

令和8年3月3日
千葉市立作新小学校
校長 金谷 英味

学校教育目標：一人一人のちがいを大切に「かしこく あたたかく たくましい」子どもの育成

節目を迎えて

2月7日(土)の夜から降り出した雪は、思った以上に積り、校庭を真っ白にしました。その後は一雨降るごとに暖かさが増していくように感じます。

間もなく令和7年度が終わろうとしています。6年生は3月2日(月)から卒業式に向けた練習が始まりました。練習を開始するにあたり、教務主任が卒業式に臨む心構えについて6年生に話をしていました。「人生には時折、大きな節目がやってくる。小学校を卒業するということは、まさに、そのうちの大事な一つではないか」という言葉をうなずきながら真剣に聞く姿に、成長と間もなく卒業していく寂しさを感じました。まさに、今年度は作新小学校も創立50周年の大きな節目でした。子どもたちは、日々、色々なこと(失敗も含め)を経験し、感じ、学び、成長しています。それぞれどのような思い出が強く残った年度末の節目を迎えているのでしょうか。子どもたちの節目に立ち会えることに喜びを感じながら、巣立ちの日まで、全職員でしっかりと支援、指導してまいります。



なく見納めとなります。

【雪化粧の校庭】
二月九日(月)久しぶりの雪に子どもは大はしゃぎ。一時間は教室での座学ではなく、雪を楽しむ時間となりました。十時過ぎには、泥交じりの雪となっていました。



【綱引き大会】
体育委員が中心となり、休み時間に綱引き大会を開催してくれました。いろいろな組み合わせ方で対戦しました。私も仲間に入れてもらいました。翌日は筋肉痛になりましたが、楽しかったです。



1年生から感謝の手作りメダルを首にかけてもらう6年生。



【六年生ありがとうの会】
六年生から各学年がもらった「目に見えない贈り物」(二月号に掲載)を各学年の代表が紹介し、感謝の言葉を伝えました。掃除の仕方を教えてもらった。優しく遊んでくれた。等
かっこいい姿を見せてくれた。等

保護者の皆様、地域の皆様、1年間、様々な面でご理解とご支援を賜り、ありがとうございました。